

平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会
第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年7月30日(水) 二回戦

Aコート 第3試合 深谷総合体育館(深谷ビッグタートル)

チームA				チームB
中部大学第一	78	$\left. \begin{array}{l} 27 - 28 \\ 9 - 27 \\ 14 - 31 \\ 28 - 33 \end{array} \right\}$	119	福岡第一
愛知				福岡

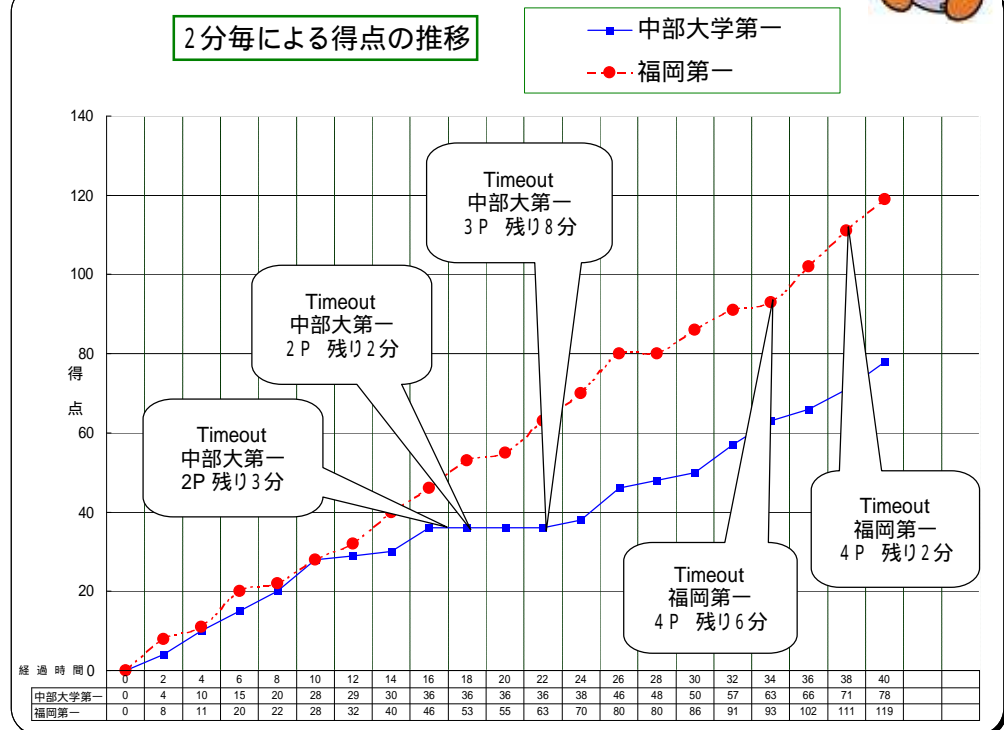
中部大学第一

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	菅原 秀宣	✓	2	0	0	1	3	0	0	2	2	2	2	1	2	0	20
5	山本 紘生	X	2	0	0	1	2	0	0	1	0	1	1	2	2	0	34
6	久富 数馬	X	6	2	7	0	0	0	0	2	0	1	2	1	3	0	36
7	浅井 章吾	X	8	0	0	4	7	0	0	5	1	1	2	1	1	0	23
8	張 天杰	X	16	0	0	7	12	2	5	5	3	6	5	0	1	1	26
9	高村 一輝	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
10	一戸 真	✓	4	0	0	1	3	2	3	2	0	1	3	1	2	0	13
11	宇都 直輝	X	40	3	7	11	17	9	11	2	6	2	6	1	5	0	40
12	平野 裕太郎	✓	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
13	山下 大貴	✓	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	4
14	石丸 栄大	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15	高木 攻	✓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3
コーチ	常田 健									0	2	1					
出場: ×は先発、/は出場		78	5	14	25	44	13	19	21	14	15	22	9	16	1		200
確率			35.7%		56.8%		68.4%			計	29						

福岡第一

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	田中 宏和	✓	2	0	0	1	1	0	2	2	0	1	2	1	2	0	10
5	仲本 翔	✓	4	0	0	2	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	7
6	狩野 祐介	X	9	1	4	3	8	0	0	1	0	1	1	0	0	0	25
7	石川 裕一	✓	15	0	0	6	7	3	4	1	3	0	4	2	3	0	22
8	玉井 勇気	X	13	1	3	5	6	0	0	1	2	3	0	3	2	0	28
9	和田 直樹	X	14	2	3	3	4	2	2	2	1	0	1	2	3	1	21
10	セック エルハジ イブラヒマ	X	20	0	0	9	18	2	3	3	7	3	0	1	1	2	12
11	早川 ジミー	X	12	0	0	5	6	2	2	0	1	1	1	0	2	0	10
12	豊嶋 龍生	✓	19	0	0	9	13	1	1	2	3	2	1	0	0	2	17
13	園 幸樹	✓	6	0	0	3	6	0	0	1	1	3	0	1	2	1	19
14	山崎 翔	✓	0	0	1	0	2	0	0	1	0	1	1	4	4	0	19
15	橋本 泰志	✓	5	0	0	2	4	1	3	3	1	0	1	0	3	0	10
コーチ	井手口 孝									0	1	3					
出場: ×は先発、/は出場		119	4	11	48	77	11	17	17	21	18	12	14	22	6		200
確率			36.4%		62.3%		64.7%			計	39						

2分毎による得点の推移



戦評

バランスの取れた布陣で4年振りの栄冠を目指す福岡第一に、インサイドを軸にアウトサイドの機動力で活路を開きたい中部大学第一の対戦。
第1P両チーム共にハーフマンツーマンでスタート。福岡第一はインサイドにボールを集めリードするが、中部大学第一も#7浅井などのスクリーンからのアウトサイドシュートで応戦。5分過ぎ、福岡第一の#10イブラヒマ、#11早川が続いて交代すると、中部大学第一は#11宇都の3Pシュートで流れを戻し、28-27福岡第一がリードで終了。
第2P立ち上がり福岡第一は#10イブラヒマで連続得点するが、3分、ファウルでベンチに下がると、中部大学第一#8張がミスマッチを突いて連続得点し流れを引き戻す。しかし5分、福岡第一が1-3-1ゾーンに変えるとターンオーバーが目立ち、55-36と福岡第一が引き離して前半終了。
第3P福岡第一はマンツーマンのプレッシャーを強め一気に勝負に出る。1分、中部大学第一#8張がファウルで交代。ゴール下を支配する福岡第一が次々と得点を重ね、6分過ぎには80-42となる。福岡第一は終盤スタートを全員交代したが86-50福岡第一リードのまま終了。
第4P全員メンバーを変えてスタートした福岡第一に対して、中部大学第一は2-2-1オールコートプレスに出で激しく追い上げようとするが、点差は縮まらず119-78で福岡第一が勝利した。

主審	高橋 伸次	副審	大倉 守正	戦評	増田 義治 (埼玉県高体連)
----	-------	----	-------	----	----------------